Genie
A TEREX BRAND

操作説明書

シリアル番号の範囲

Genie Lift™

メンテナンス情報付き

英語版操作説明書の翻訳

Second Edition
Third Printing
Part No. 1314200JAGT

Manufacturer: CE

Terex Global GmbH
Bleicheplatz 2
Schaffhausen, 8200
Switzerland

EU Authorized representative:

Genie Industries B.V.
Boekerman 5
4751 XK OUD GASTEL
The Netherlands

UK Authorized representative:

Genie UK Limited
The Maltings
Wharf Road
Grantham
NG31 6BH
UK

目次

はじめに 1
シンボルと危険を表すイラストの定義 6
一般的な安全 7
作業場の安全 9
説明 12
点検 14
操作手順 24
輸送および持ち上げの手順 27
メンテナンス 28
積載荷重量表 29
仕様 31

Copyright ゥ 1995 by Genie Industries

第 2 版: 第 3 刷, 8 月 2026

「Genie」は米国およびその他の国における
Terex South Dakota, Inc. の登録商標です。

準拠規格:

CE 機械指令 2006/42/EC
（2027 年 1 月 19 日まで有効）

機械規則 2023/1230/EC
（2027 年 1 月 20 日より施行）

はじめに

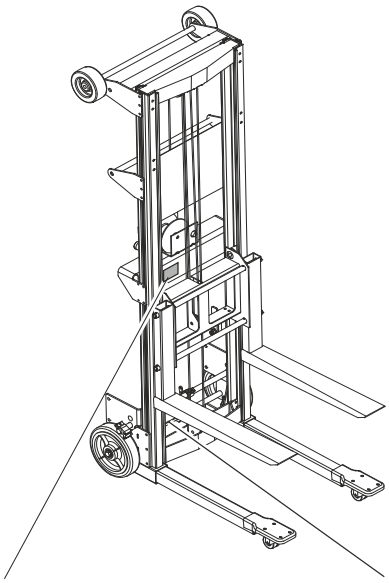
この説明書について

当社の製品をお選びいただき、ありがとうございます。当社はユーザーの安全を最優先に考えており、その達成には皆様のご協力が必要です。本著は、Genie 機械のユーザーもしくはオペレータのための操作および毎日の保守点検説明書となっています。

本説明書は機械の一部とみなされ、必ず機械と一緒に置かれていなければなりません。ご質問等がありましたら、Genie にお問い合わせください。

製品の識別

この機械のシリアル番号はシリアルラベルに記載されています。



シリアルプレート

シリアル番号はシャーシに記載

用途および訓練ガイド

この機械の使用目的は、マテリアルを持ち上げることです。機械を操作する前に、この訓練ガイドを読み、理解することはオペレータの任務です。

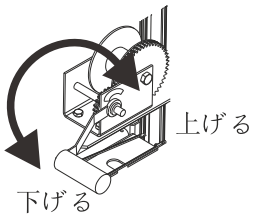
- ☑ 各人がマテリアルリフトを操作するための訓練を受けなければなりません。
- ☑ マテリアルリフトの取り扱いは、権限を持ち、能力を持ち、訓練を受けた各人に行わなければなりません。
- ☑ トレーニングを受け、認定された担当者のみが機械を操作することを許可されなければなりません。
- ☑ 操作説明書の製品取扱説明書と安全規則をよく読み、理解し、従うことはオペレータの任務です。
- ☑ 操作説明書は、この機械の取扱説明書保管場所の中にあります。
- ☑ 具体的な製品の適用性に関しては、次のページ記載の**「製造者への連絡」**を参照してください。

はじめに

関連する機械の動作は以下のとおりです。



回転キャスターロック



キャリッジの昇降

使用の制限は以下の場合です。

- この機械の使用目的は、高所作業現場にマテリアルを持ち上げることです。
- 機械がしっかりとした平坦な場所にあるとき以外は、キャリッジを上げないでください。

安定性増強とは以下を示します。

- 安全装置（搭載されている場合）
- 脚

制限された動作包絡面は以下のとおりです。

- 積荷取扱いアタッチメント（積載荷重量表のセクションを参照してください。）

はじめに

通知の配布と準拠

製品ユーザーの安全は Genie の最優先事項です。数多くのさまざまな通知は Genie が販売業者および機械の所有者に重要な安全規約と製品情報を知らせるために使用されます。

通知に含まれる情報は、機械モデルとシリアル番号を使用して特定の機械に関連付けられています。

通知の配布は、お客様を担当している販売業者によって記録されている最新の所有者情報に基づいて行われます。そのため、ご利用の機械を登録し、連絡先情報を更新することは重要です。

従業員の安全、使用している機械の継続した安全な操作を保証するために、それぞれの通知に記載されている事項に必ず準拠してください。

ご利用の機械に関する公開されている通知は www.genielift.com にアクセスしてご確認ください。

適合宣言書

適合宣言書の原本は https://my.genielift.com で入手いただけます。

製造者への連絡

Genie にご連絡いただく必要が出てくる場合があるかもしれません。その場合には、ご利用の機械のモデル番号とシリアル番号、またお客様のお名前とご連絡情報とを合わせて提供いただくためのご準備をお願いいたします。Genie にご連絡いただく事項には最小限であっても以下があります。

事故のご報告

製品の適用性および安全性に関するご質問

標準および法規制の順守情報

機械の所有権の変更、または連絡情報の変更などの現在の所有者情報の更新以下の「所有権の譲渡」を参照してください。

機械所有権の譲渡

所要時間数分で所有者情報を更新していただくと、ご利用の機械に適用する重要な安全、保守および操作に関する情報を取得できます。

www.genielift.com にアクセスしてただくか、またはフリーダイヤル 1-800-536-1800 までご連絡いただき、ご利用の機械をご登録ください。

はじめに



危険

本説明書の操作指示と安全規則に従わなかった場合、死亡または重傷事故の原因となることがあります。

操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

次のセクションに進む前に、安全規則を承知し理解する。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

☑ 製品取扱説明書と安全規則 ― 安全マニュアルおよび操作説明書と機械ステッカーをよく読み、理解し、それに従う。

☑ 従業員の安全規則と作業場所の規則をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 該当するすべての法規をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 使用者は安全に機械操作を行うための適切なトレーニングを受ける。

安全ステッカーの保守

安全ステッカーがない場合または破損している場合は、新しいステッカーを貼付します。常にオペレータの安全に配慮してください。安全ステッカーの汚れを取るには、刺激の少ないせっけんと水を使用します。安全ステッカーの素材を傷つける場合があるため、溶剤を使用したクリーナーを使用しないでください。

はじめに

ステッカーの説明

Genie 製品ステッカーは、識別しやすいよう、下記のようなシンボル、色別コード、および注意喚起語を使用しています。



安全警報シンボル ー 作業員にケガの危険があることを知らせます。ケガや死亡の危険を避けるために、このシンボルの安全警告に従ってください。

危険

赤 ー 差し迫った危険があることを示します。この危険を回避しない場合は重傷または死に至ります。

警告

オレンジ ー 危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は重傷または死に至る可能性があります。

要注意

安全上の警告シンボルを伴った黄色 ー 危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は小さなケガから中程度のケガを負うことがあります。

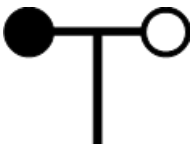
要注意

安全上の警告シンボルがない黄色 ー 危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は機械が故障することがあります。

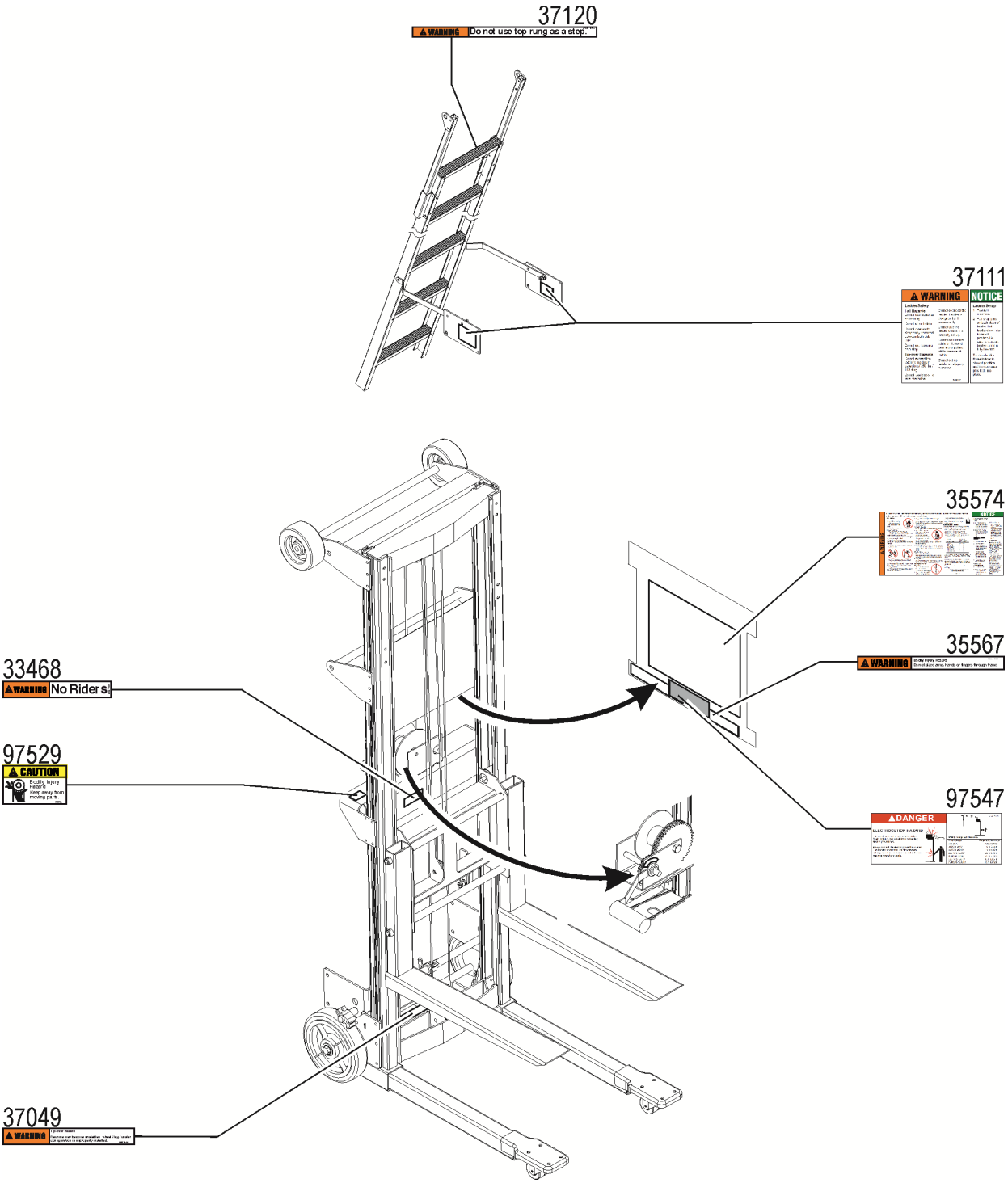
注意

緑 ー 操作方法または保守に関する情報を示します。

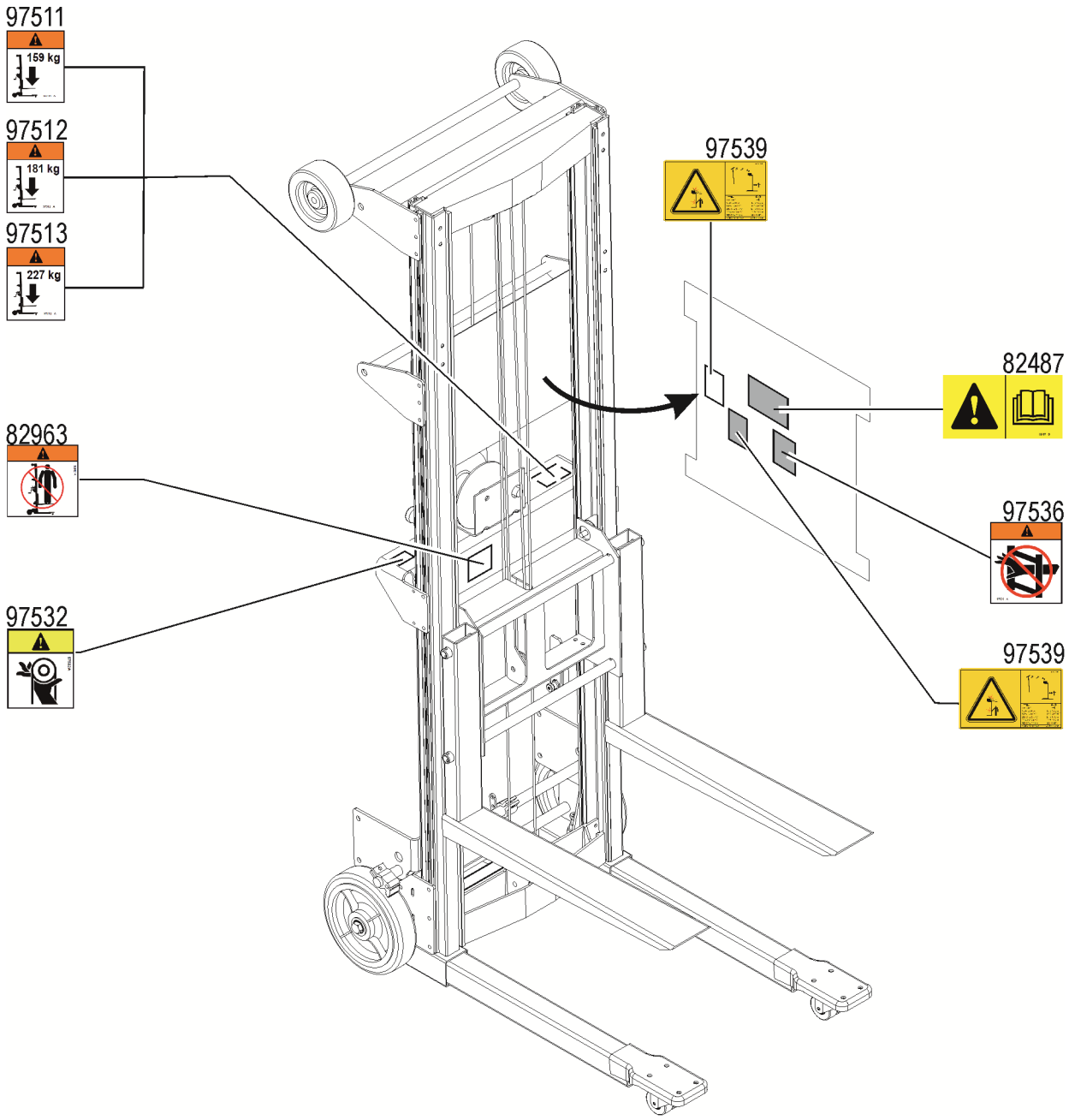
シンボルと危険を表すイラストの定義

 操作説明書を読んでください	 サービスマニュアルを読んでください	 挟まる危険	 禁煙	 衝突の危険
 落下の危険	 転倒の危険	 転倒の危険	 感電の危険	 機械故障の危険
 人体への傷害の危険	 側方圧	 風速		

一般的な安全


37120
WARNING Do not use top rung as a step.
37111
WARNING NOTICE
35574
NOTICE
35567
WARNING
97547
DANGER
33468
WARNING No Riders
97529
CAUTION
37049
WARNING

一般的な安全


97511
159 kg
97512
181 kg
97513
227 kg
82963
97532
97539
82487
97536
97539

作業場の安全

⚠ 感電の危険

この機械は絶縁されておらず、電流との接触または電流への近接に対する保護は施されていません。

適合する法規および次の表に従って、電線や電気装置から安全な距離を保ってください。

電圧範囲	安全を確保するための最短距離	
0 ～ 300V	接触を避ける	
300V ～ 50KV	10 ft	3.05 m
50KV ～ 200KV	15 ft	4.60 m
200KV ～ 350KV	20 ft	6.10 m
350KV ～ 500KV	25 ft	7.62 m
500KV ～ 750KV	35 ft	10.67 m
750KV ～ 1,000KV	45 ft	13.72 m

作業台の動きや電線の揺れやたるみを考慮にいれ、強風および突風に注意してください。

通電している電線に機械が接触している場合は、機械に近づかないでください。通電している送電線が遮断されるまで、作業員は絶対に機械に触れたり操作したりしないでください。

溶接するときに、機械をアースとして使用しないでください。

⚠ 転倒の危険

最大定格積載荷重量を超えないでください。積載荷重量表のセクションを参照してください。

脚ロックピンが適切に脚に挿入されていない場合は、積荷を上げないでください。

正しい長さの脚が適切に取り付けられていない場合は、積荷を上げないでください。

機械がしっかりとした平坦な地面に設置されている場合以外は、積荷を上昇しないでください。



位置の微調整を行う以外、積載が上昇した状態で機械を移動させないでください。



積荷を上げた状態で機械を後方に傾けないでください。

ブロックを使用して、機械を水平にしないでください。

強風時または突風時には機械を操作しないでください。荷重表面積を大きくなると、風の強い状況での機械の安定性が低下します。

機械どの部分にもはしごや足場を組まないでください。

作業場の安全

ホイール／脚／キャスターの構成が適切でない場合は、機械を操作しないでください。

操作を始める前に、作業現場に急に低くなっている場所、くぼみやもりあがった箇所、障害物、不安定な地面、滑りやすい表面、またその他の危険な状態がないことを確認してください。

脚が取り付けられていない状態で機械を移動する場合、障害物のある場所や平らでない場所を避けてください。

機械の安定性や構造に大きくかかわる部品を、重量や仕様の異なるものと交換しないでください。

機械に水平力あるいは側面荷重を与える原因になるので、固定されている積荷やぶら下っている状態の積荷を上下に移動させないでください。

動いている、または動く可能性のある表面、もしくは車両上で機械を使用しないでください。

⚠ 落下の危険

人員運搬用の台または踏み台として使用しないでください。



フォークや作業台、またはブームの上に立ったり座ったりしないでください。

機械に登らないでください。

⚠ 衝突の危険

積荷が適切にフォークまたは積荷作業台の中心に配置されていない場合は、積荷を上げないでください。



作業場において、頭上に障害物もしくは他に危険なものがないことを確認してください。

積荷を上げるとき、機械の下に立たないでください。また、作業員がいないことを確認してください。

積荷の下に人がいないこと、また障害物がないことを確かめてから、積荷を下げてください。

傾斜地や坂道、階段で機械を移動する場合は、常識的な判断と手順をもって行ってください。

フレームの溝が適切な潤滑を保つようにようにして下さい。「操作前の点検」の項を参照して下さい。フレームの溝の潤滑剤が切れた場合、固まったり動かなくなったりすることがあり、荷物の移動や転倒の原因となります。

⚠ 人体への傷害の危険

ケーブルを握らないでください。

滑車、荷台など、手や指をはさむ可能性のある場所には触れないでください。

フレームに腕、手、指を入れないでください。

作業場の安全

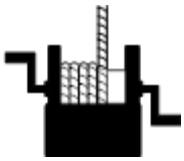
⚠ 機械故障の危険



損傷もしくは故障している機械は使用しないでください。

ケーブルに磨耗、ほぐれ、よじれ、あるいは損傷がある場合は、機械を使用しないでください。

キャリッジが完全に下がっている状態でウィンチドラムにケーブルが 4 巻き以下しか残っていない機械は、使用しないでください。



毎回機械を使用する前に、操作前の点検を完全に行ってください。

すべてのステッカーが適切な位置にあり、文字が読める状態であることを確認してください。

ウィンチには潤滑油を差して常に適切な状態に保ってください。詳細については、*Genie Lift 部品およびサービスマニュアル*を参照してください。

ブレーキ表面にオイルや油脂がつかないように注意してください。

⚠ 手のケガの危険

ブレーキがロックされるまで、ウィンチハンドルをしっかり握ってください。積荷によってウィンチハンドルが回らなくなると、ブレーキがロックされます。

⚠ 持ち上げる際の危険

機械に積荷する際および機械を傾ける場合や階段で機械を移動する場合には、適切な手段で行ってください。

機械が 4 点キャスターオプションを装着時は、機械を階段で移動しないでください。

⚠ はしごの安全性

落下の危険

足場としてはしごを使用しないでください。

はしごに座らないでください。

手を伸ばしすぎないでください。両側面レールの中央に体の重心を保つようにします。

はしごの最上段を踏み台として使用しないでください。

転倒の危険

はしごの最大積載荷重である 250 lbs / 113 kg を超えないようにしてください。

はしごに負荷をかけすぎないでください。はしごの定員は 1 名です。

はしごが適切にセットアップされていない場合は、使用しないでください。

はしごに乗った状態で、はしごを移動させないでください。はしごの側面を押したり、引っ張ったりすることは避けてください。

滑りやすい場所にはしごを設置しないでください。

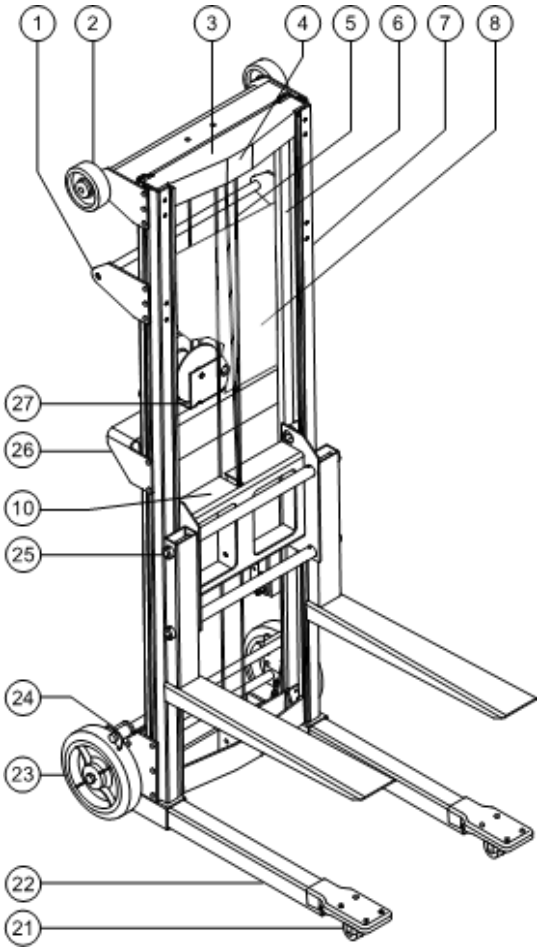
ブロックを使用して、はしごを水平にしないでください。

⚠ 誤用による危険

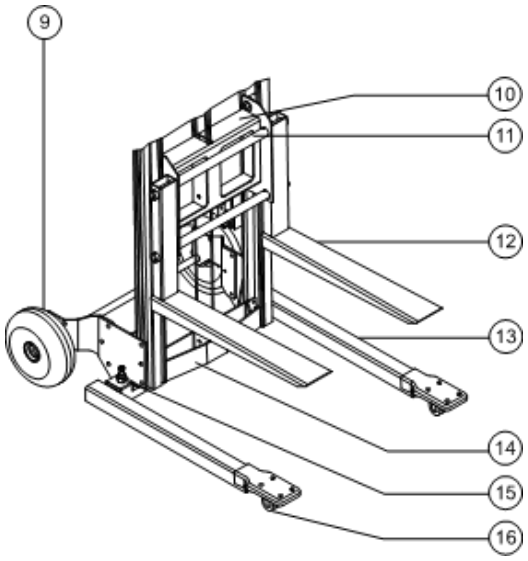
積荷している機械からは、絶対に離れないでください。権限のない人が適切な指示なしに機械を操作すると、危険な状態を招く恐れがあります。

説明

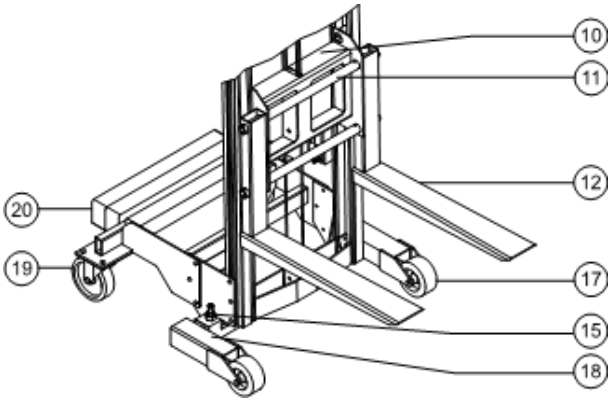
標準ホイール付き標準ベース



空気圧式ホイール付きストラドルベース

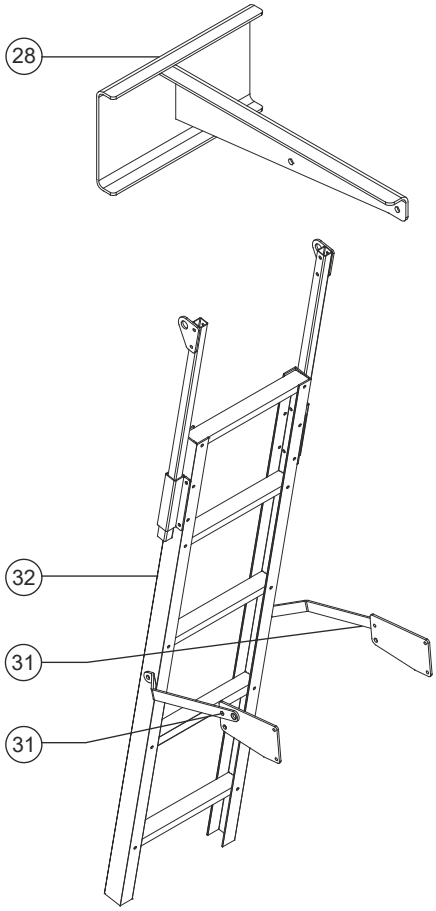


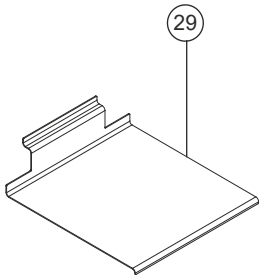
カウンターウェイトベース



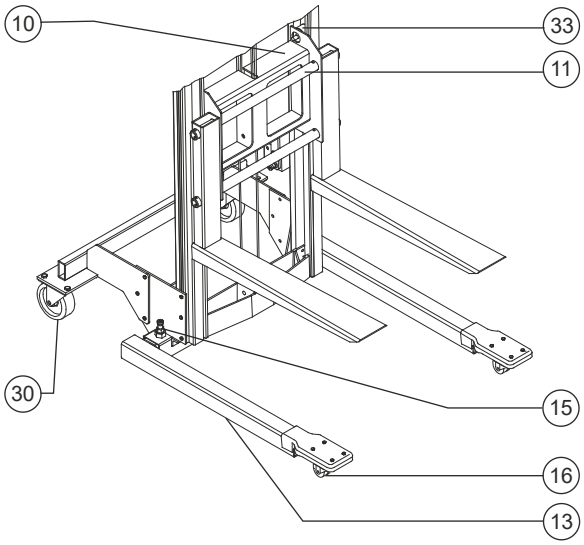
1 ハンドル
2 ローディングホイール
3 上部内側フレーム滑車
4 ケーブル錨
5 ケーブル
6 内側フレーム
7 外側フレーム
8 ステッカープレート
9 空気圧式ホイール
10 キャリッジ
11 フォーク固定チューブ
12 フォーク
13 調節可能脚 — ストラドルベース
14 下部内側フレーム滑車
15 レッグロックピン
16 キャスター、2 インチ — オプション A
キャスター、2.50 インチ — オプション B
17 ホイール — 4 インチ固定型
18 調節可能脚 — カウンターウェイトベース
19 キャスター — 5 インチ回転型
20 カウンターウェイトベース
21 キャスター — 2 インチデュアルホイール
22 脚 — 標準ベース
23 ソリッドラバーホイール

説明





4点キャスター付きストラドルベース



24 ブレーキ（オプション）
25 フォークロックピン
26 ウィンチ固定ブラケット
27 ウィンチ
28 ブーム（オプション）
29 積荷作業台（オプション）
30 キャスター、4 インチ — オプション A
キャスター、5 インチ — オプション B
31 はしごスナップピン
32 はしご（オプション）
33 ホールドダウンバー

点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

次のセクションに進む前に、操作前の点検についてよく理解してください。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

操作前の点検の基本

操作前の点検と規定メンテナンスはオペレータが責任をもって行ってください。

操作前の点検とは、各シフトの前にオペレータが目で見て行う点検です。この点検は、オペレータが機能テストを行う前に、目で点検して異常な箇所を見つけることを目的としています。

さらに操作前の点検によって、規定メンテナンスが必要かどうかを判断します。オペレータは、本説明書で指定されている規定メンテナンス項目のみを行ってください。

次のページのリストを参照し、それぞれの項目をチェックしてください。

損傷もしくは工場出荷時の状態からの無許可での改造を発見した場合は、機械に故障中の貼り紙をつけて使用を停止してください。

機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみがメーカーの製品仕様に基づいて行ってください。修理が終了したら、オペレータは機能テストに移る前に再度操作前の点検を行ってください。

定期保守点検は、認定を受けたサービス担当者がメーカーの製品仕様と責務マニュアルに記載されている要項に基づいて行ってください。

点検

操作前の点検

- ❑ 操作説明書が完備され、読みやすく、参照できる状態であることを確認してください。
- ❑ すべてのステッカーが文字が読める状態で、所定の位置にあることを確認します。「ステッカー」のセクションを参照してください。

以下の部品もしくは部分が損傷していたり、変更されていないか、きちんと設置されていなかったり、なくなっている部品がないかチェックしてください。

- ❑ ウィンチと関連部品
- ❑ ベース部品
- ❑ 脚
- ❑ ローラーホイール
- ❑ 内側フレームと外側フレーム
- ❑ グライドボタン
- ❑ 荷台固定アッセンブリ
- ❑ ケーブルアンカー
- ❑ ケーブルと滑車
- ❑ ホイールとキャスター
- ❑ フォーク
- ❑ 積荷作業台とブーム（搭載されている場合）
- ❑ ナット、ボルト、他の締め具
- ❑ ケーブル（よじれ、破れ、擦り切れ）
- ❑ はしご（搭載されている場合）
- ❑ ブレーキシステム（搭載されている場合）

機械全体にわたって下記をチェックします。

- ❑ 溶接や機械部品の割れ
- ❑ 機械のへこみと故障
- ❑ 過度のさび、腐敗または酸化

- ❑ 機械を構成している全ての部品が欠けておらず、適合するファスナーやピンが正しい位置にしっかりと締められた状態にあることを確認します。
- ❑ キャリッジが完全に下がっているとき、ウィンチドラムにケーブルが 4 巻き以上のこっていることを確認します。
- ❑ フレームの溝が適切に潤滑剤が塗布され、ゴミがないことを確認してください。乾いたシリコンスプレーまたはシリコンワックス（Genie 部品番号 90337）で溝に潤滑剤を塗布します。

点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

次のセクションに進む前に、機能テストについてよく理解してください。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

機能テストの基本

機能テストは、機械を使用する前に故障を見つけることを目的としています。オペレータは、指示された手順に従ってすべての機能をテストしてください。

故障している機械は決して使用しないでください。故障が見つかった場合は、故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみがメーカーの製品仕様に基づいて行ってください。

修理が終了後、オペレータは機械を使用する前に、操作前の点検と機能テストを再度実行してください。

点検

機能テスト

1 テストを行う場所として、障害物がなく、安定した平坦な場所を選びます。

セットアップ

1 機械を後方に傾斜します。

2 各フォークを荷台にスライドさせ、フォークロックピンで固定します。

3 脚ロックピンが脚にはめ込まれるまで、各脚をベースソケットにスライドさせます。



4 機械を立てます。

5 ウィンチハンドルを取り外し、ハンドルを逆にして取り付けます。ハンドルのグリップはオペレータの方を向いている必要があります。

6 ストラドルベース：お好みの幅に調節します。脚ロックピンが脚にはめ込まれてることを確認します。

7 荷物台の固定バーを回転させ取り外します。

ブーム

1 ブームを垂直位置にします。

2 ブームプレートの上部を上部フォーク固定チューブの下に位置させて、持ち上げます。

3 ブームがロックされるまで、下に旋回させます。

4 リフトシャックルをブームの穴に取り付けます。

積荷作業台

1 積荷作業台をフォークの上に置きます。

2 後方のアングルが下部フォーク固定チューブの下になるまで積荷作業台の前部を持ち上げ、荷台に向かって押します。

3 積荷作業台がフォークの上の所定の場所にロックされるまで、下に回転させます。

はしごの設置（搭載されている場合）

1 機械を置きます。

2 はしごの両サイドのスナップピンを引っ張ります。

3 はしごを引っ張り、下げた位置にします。完全にはしごが下がるまで、必ずはしごを補助してください。

はしごを保管するには：はしごを収納位置まで上昇させて、スナップピンを所定の位置でロックしてください。

点検

ブレーキ動作の確認（搭載されている場合）

1 脚ペダルを押して、ブレーキをロックします。

2 機械を押します。

⊙ 結果：ホイールは動いてはいけません。

3 脚ペダルを押しあげて、ブレーキを解除します。

4 機械を押します。

⊙ 結果：機械が動くはずです。

ウィンチ操作のテスト

注記：Genie Lift 4 には内部フレームがありません。

1 ウィンチハンドルを時計回りに回転させると、荷台が上昇します。

⊙ 結果：荷台が内側フレームの一番上まで上がると、内側フレームが上がるはずです。荷台と内側フレームは、ひっかかったり、つっかえたりすることなく、スムーズに作動するはずです。

2 ウィンチハンドルを反時計回りに回転させると、荷台が下降します。

⊙ 結果：内側フレームが外側フレームに下がり、その後、荷台が内側フレームに下がるはずです。荷台と内側フレームは、ひっかかったり、つっかえたりすることなく、スムーズに作動するはずです。

注記：荷台と内側フレームが自由に動かない場合は、乾いたシリコーンスプレーやシリコーンワックスで溝を潤滑する必要がある場合があります。

点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

次のセクションに進む前に、作業場の点検についてよく理解してください。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

作業場の点検の基本

作業場を点検することによって、オペレータは作業場が安全な機械操作に適しているかどうかを判断することができます。オペレータは、作業場に機械を移動する前に作業場の点検を行わなければなりません。

オペレータは作業場で起こりうる危険を心得た上で、機械の移動、セットアップ、運転の際に注意を払い、危険を回避してください。

作業場の点検

次の危険な状態に注意し、これらを回避してください:

- ❑ 急に低くなっているところ、くぼみ
- ❑ でこぼこした道、床の障害物もしくは破片
- ❑ 傾斜面
- ❑ 不安定な地面、滑りやすい地面
- ❑ 頭上の障害物、高圧送電線
- ❑ 危険な場所
- ❑ 機械の重量に耐えられない地面
- ❑ 風や天候の状態
- ❑ 関係作業員以外の人の存在
- ❑ その他、起こりうる危険な状態

点検

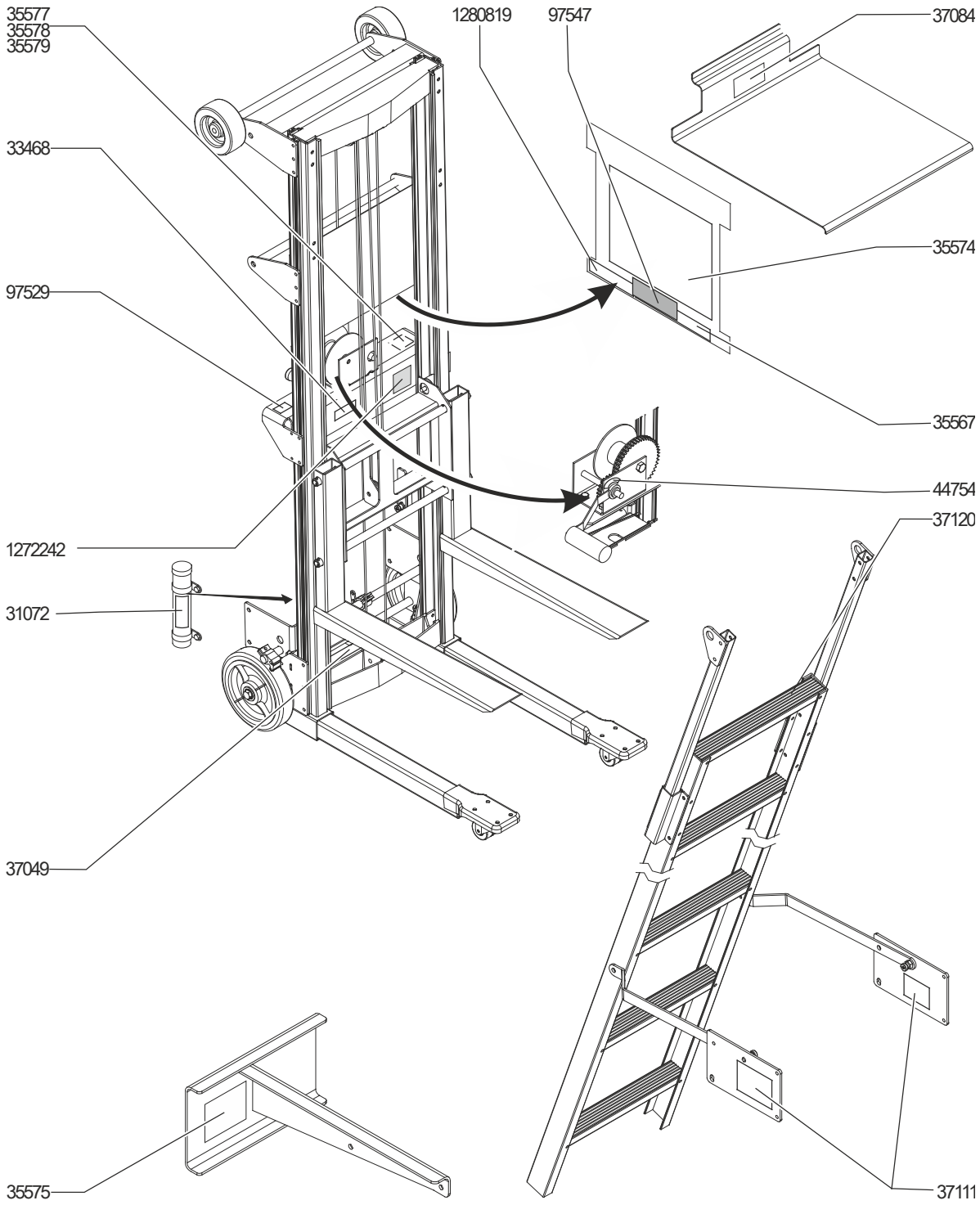
警告用語付きステッカーの点検

機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。適切な点検方法で、ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

品番	ステッカーの説明	数量
31072	ラベル — 取扱説明書保管場所	1
33468	警告 — 操作者が不在です	1
35567	警告 — 人体への傷害の危険	1
35574	警告 — 機械の安全およびセットアップ	1
35575	注意 — ブームのセットアップ	1
35577	注意 — 最大積載量、350 lbs / 159 kg、GL-10、GL-12	1
35578	注意 — 最大積載量、400 lbs / 181 kg、GL-8	1
35579	注意 — 最大積載量、500 lbs / 227 kg、GL-4	1
37049	警告 — 転倒の危険	1
37084	注意 — 積荷作業台セットアップ	1
37111	警告 — はしごの安全およびセットアップ	2
37120	警告 — ステップがありません	1
44754	ラベル — 上昇／下降	1
97529	注意 — 人体への傷害の危険	1
97547	危険 — 感電の危険	1
1272242	ラベル — 機械の登録	1
1280819	ラベル — 警告、がんと生殖害、Prop 65	1

■ 影の部分はステッカーが隠れていて見えないことを示しています（例：カバーの下など）。

点検


35577
35578
35579
33468
97529
1272242
31072
37049
35575
1280819
97547
37084
35574
35567
44754
37120
37111

点検

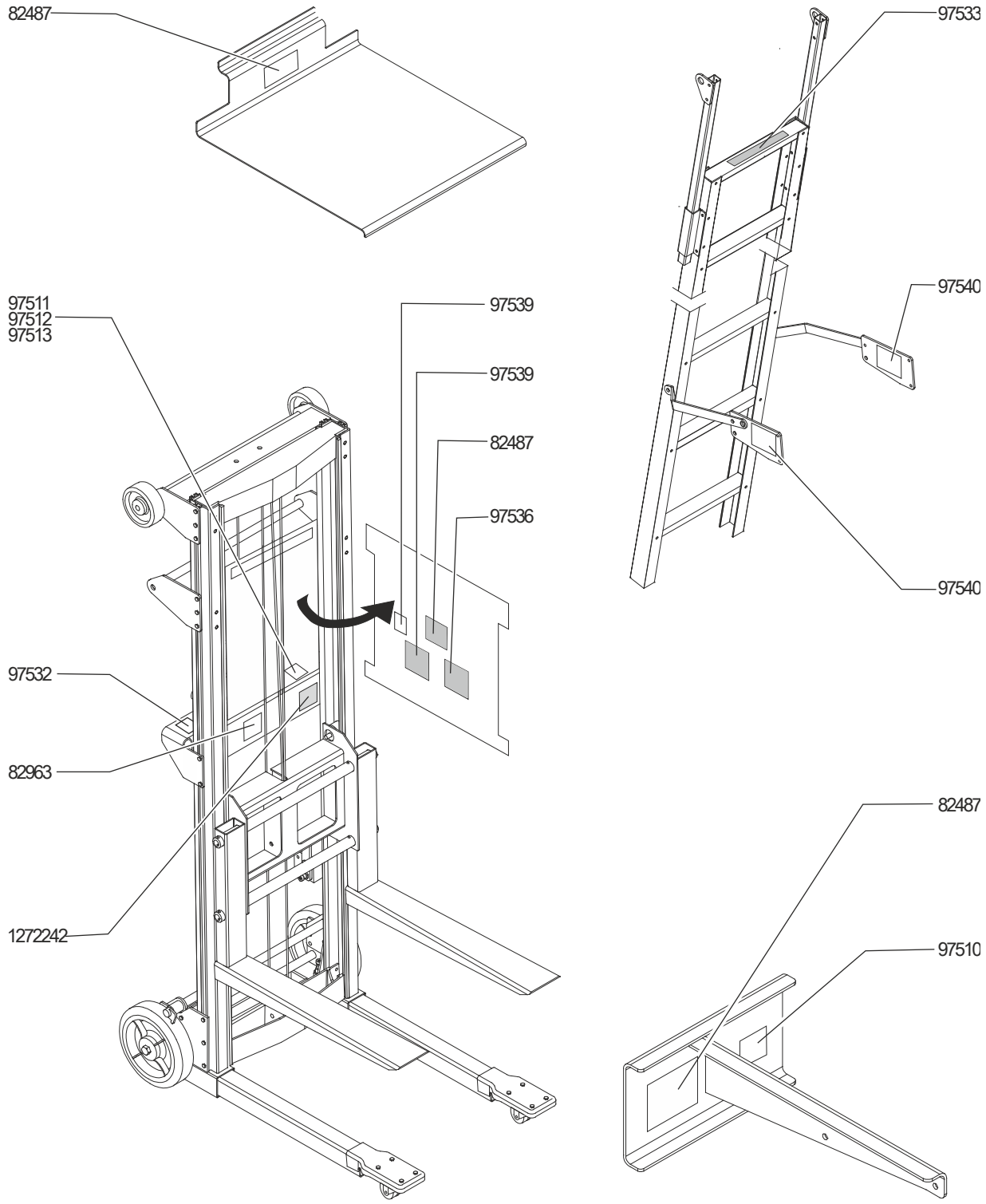
シンボル付きステッカーの点検

機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。適切な点検方法で、ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

品番	ステッカーの説明	数量
82487	ラベル — マニュアルを読む	2
82962	警告 — 操作者が不在です	1
97510	警告 — ブームのセットアップ	1
97511	警告 — 最大積載量 159 kg、GL-10、GL-12	1
97512	警告 — 最大積載量 181 kg、GL-8	1
97513	警告 — 最大積載量 227 kg、GL-4	1
97532	注意 — 人体への傷害の危険	1
97533	警告 — ステップがありません	1
97536	警告 — 手を伸ばさないでください	1
97539	危険 — 感電の危険	2
97540	警告 — 最大積載量、113 kg	2
1272242	ラベル — 機械の登録	1

■ 影の部分はステッカーが隠れていて見えないことを示しています (例：カバーの下など) 。

点検


82487
97533
97540
97511
97512
97513
97539
97539
82487
97536
97540
97532
82963
1272242
82487
97510

操作手順



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

操作手順のセクションでは、機械操作の手順を機能ごとに説明しています。安全規則やオペレータの安全および責務マニュアルの手順に従うことは、オペレータの任務です。

機材を持ち上げる目的以外に機械を使用することは危険です。

2 名以上のオペレータが同じ勤務時間内で異なる時間帯に機械を使用する場合、各オペレータが、すべての安全規則と操作説明書の手順に従わなければなりません。すなわち、オペレータが交替するたびに、次のオペレータが機械の操作前に、操作前の点検、機能テスト、作業場の点検を行う必要があります。

操作手順

設置

障害物がなく、平坦で安定している場所を選択してください。

「機能テスト」セクションのセットアップ手順に従ってください。

積荷の上昇と下降 — 手動ウィンチ

1 積荷をフォークまたは積荷作業台の中心に置きます。

2 ウィンチハンドルをしっかりと握って時計回りに回転させ、積荷を上げます。ケーブルがウィンチドラム上に不均等に巻かれないようにしてください。

3 ウィンチハンドルをしっかりと握って反時計回りに回転させ、積荷を下げます。任意の位置まで下がったら、ウインチハンドルを時計方向に 1/4 回転（積荷を上げる）させ、ブレーキをセットしてください。

積載した機械の移動

作業場で機械を移動する場合、積載していない状態が最も理想的です。積荷が上昇している状態での移動は、積載および積み下ろしのために制限すべきです。積荷が上がっている状態で機械を動かす必要がある場合、以下の安全規則を理解し、従ってください。

- 現場が平坦であり、障害物がないことを確認してください。
- 積荷がフォークまたは積荷作業台の中心に配置されていることを確認してください。
- 急な発進または停止は避けてください。
- 積荷をできるだけ低い位置にして移動させてください。
- 関係者以外は、機械および積荷に近づかないでください。
- 積荷を上げた状態で機械を後方に傾けないでください。

操作手順

階段での機械の移動

階段で機械を移動する場合は、オプションの階段用グライドを使用することが理想的です。階段用グライドを使用せずに、階段で機器を移動することは推奨しません。階段で機械を動かす必要がある場合、以下の安全規則を心得え、従ってください。

- 機械が 4 点キャスターオプションを装着時は、機械を階段で移動しないでください。
- 積荷を完全に下げます。
- 機械を一段ずつゆっくり移動します。ハンドルをしっかり握ったままにします。
- 機械のバランスが崩れないようにします。
- 階段を慎重に上り下りします。
- 積荷が重い場合は、適切な人数の作業員と適切な方法で作業を行ってください。

使用後の注意

機械を保存する場合は、フォークとレッグを取り外し、ウィンチハンドルを逆向きにしてください。セットアップ手順を参照してください。

固い水平な地面で、風雨にさらされない、障害物や人や車の往来のない、安全な格納場所を選んでください。

輸送および持ち上げの手順



輸送手順

必ず以下に従うこと。

☑ 車両の最大積載荷重量と積載面が機械の重量を支えるのに十分なものであることを確認してください。機械の重量についてはシリアルプレートをご覧ください。

☑ 輸送車両は水平な地面に駐車してください。

☑ 輸送のために荷積みする前には、フォーク、ブームまたは積荷作業台から積荷を降ろします。

☑ 機械を載せる際は、輸送車両を動かないように固定してください。

☑ 機械は、輸送車両にしっかりと固定されていなければなりません。

リフトの手順

機械の積み降ろしには複数の人員が必要になります。その人数は次の条件により異なりますが、これらの要因に限定されるものではありません。

- 作業員の健康状態、体力、身体の障害、過去に負ったケガの状態
- 機械を動かす距離（垂直と水平方向）
- 機械を積み降ろしする回数
- 作業員の位置、姿勢、および機械をつかんでいる場所
- 持ち上げる手段
- 現場の状態と天候（滑りやすい、凍っている、雨が降っているなど）

ケガを防ぐために、適切な人数と正しい手段で作業を行ってください。

輸送のための積載

1 荷台を完全に下げます。

2 荷台固定バーを荷台上に回転させます。ロックピンが所定位置にはめ込まれてることを確認してください。

3 ウィンチハンドルを取り外し、ハンドルを逆にして取り付けます。ハンドルのグリップは荷台の方を向いているはずです。

メンテナンス

定期保守点検

四半期ごと、1 年ごと、2 年ごとに行われる保守点検は、本機械の保守トレーニングを受け認定されている担当者が本機械のサービスおよび保守マニュアルの手順に従って行わなければなりません。

3 ヶ月以上使用されていない機械は、再び使用する前に必ず四半期点検を行う必要があります。

機械の耐用年数を終えた際には、廃棄や廃車に関する地域や政府の規制をすべて遵守してください。詳細については、該当する Genie サービスマニュアルを参照してください。

積載荷重量表

必ず以下に従うこと。

☑ 積荷を適切な位置に置かなかった場合、重傷を負ったり死に至る可能性があります。

☑ 上げようとしている積荷が、積載中心点の最大積載量を超えていないか確認してください。次のページの積載荷重量表を参照してください。

⚠ 警告 転倒の危険。機械の最大荷重量を超えた積荷を上げると、重傷を負ったり死に至る可能性があります。

☑ 積載中心点は積荷の均衡点（重力の中心）として定義され、積荷中心ゾーン内になければなりません。

⚠ 警告 転倒の危険。積荷が適切に積荷中心ゾーンに配置されていないと、重傷を負ったり死に至る可能性があります。

フォーク

積荷配置手順

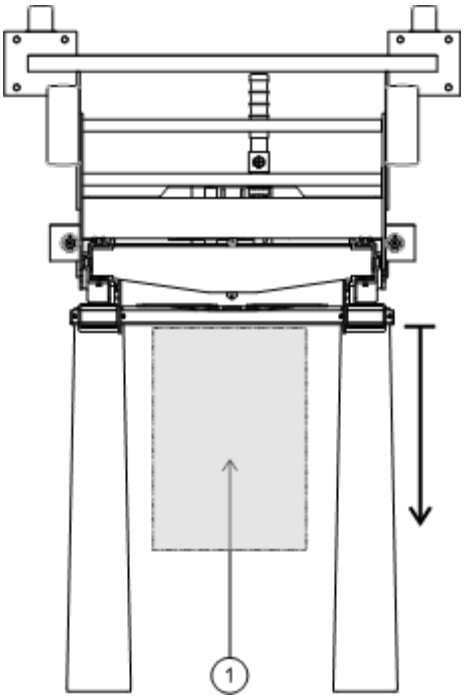
1 積荷の重量と積載中心点の場所を決定します。

2 キャリッジに最も近い積荷から積載中心点を計測します。

3 次ページの表を参照し、現在のフォークの位置において、機械が積載重量を持ち上げることができるかどうかを判断します。

4 できるだけキャリッジに近くなるように、フォークに積荷を配置します。

5 積載中心点が積載中心ゾーン内になるように、積荷を置きます。



1. 積載中心ゾーン

積載荷重量表

フォーク積載荷重量表		
	12 in 30 cm	**14 in 35 cm**
GL-4	**500 lbs 227 kg**	**500 lbs 227 kg**
GL-8	**400 lbs 181 kg**	**400 lbs 181 kg**
GL-10	**350 lbs 159 kg**	**350 lbs 159 kg**
GL-12	**350 lbs 159 kg**	**350 lbs 159 kg**

ブーム

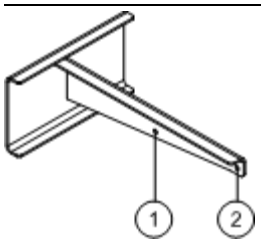
積荷配置手順

1 積荷の重量と積載中心点の場所を決定します。

2 下の表を参照し、ブームの位置において、機械がこの重量を持ち上げることができるかどうかを判断します。

3 リフトシャックルをブームの穴に取り付けます。

ブーム積載荷重量表



1 後方穴

2 前方穴

モデル	前方穴	後方穴
GL-4	300 lbs 136 kg	500 lbs 227 kg
GL-8	240 lbs 109 kg	400 lbs 181 kg
GL-10	210 lbs 95 kg	350 lbs 159 kg
GL-12	210 lbs 95 kg	350 lbs 159 kg

最大積載中心点

（キャリッジの前から測定）

フォーク:	14 in	35 cm
積荷作業台:	14 in	35 cm
ブーム:	20 in	51 cm

仕様

モデル	GL-4	GL-8	GL-10	GL-12
高さ、最大積載重量、フォーク上昇	5 ft 11 in / 1.8 m	10 ft 0.50 in / 3.06 m	11 ft 8 in / 3.6 m	13 ft 9.50 in / 4.2 m
高さ、最大積載重量、フォーク下降	4 ft 1.50 in / 1.2 m	8 ft 3 in / 2.5 m	9 ft 10.50 in / 3 m	12 ft / 3.7 m
高さ、最小積載重量、フォーク下降	3.50 in / 8.9 cm	3.50 in / 8.9 cm	2 in / 5.1 cm	2 in / 5.1 cm
積載中心点 12 in/30.5 cm でのリフト荷重	500 lbs / 227 kg	400 lbs / 181 kg	350 lbs / 159 kg	350 lbs / 159 kg
機械の重量	次のページの仕様表を参照してください。			
高さ、収納時*	5 ft 7.50 in / 1.7 m	5 ft 7.50 in / 1.7 m	6 ft 5.50 in / 2 m	7 ft 6.75 in / 2.3 m
最低地上高*	0.75 in / 1.9 cm	0.75 in / 1.9 cm	0.75 in / 1.9 cm	0.75 in / 1.9 cm
標準ベース、幅	24.75 in / 62.9 cm	24.75 in / 62.9 cm	—	—
長さ、作業台収納時	12 in / 30.5 cm	12 in / 30.5 cm	—	—
高さ - 操作時	34.75 in / 88.3 cm	34.75 in / 88.3 cm	—	—
標準ベース、幅 — 収納	28.75 in / 73 cm	28.75 in / 73 cm	28.75 in / 73 cm	28.75 in / 73 cm
幅、延長時	43.50 in / 1.1 m	43.50 in / 1.1 m	43.50 in / 1.1 m	43.50 in / 1.1 m
長さ、作業台収納時	19.25 in / 48.9 cm	19.25 in / 48.9 cm	19.25 in / 48.9 cm	19.25 in / 48.9 cm
高さ - 操作時	43 in / 1 m	43 in / 1 m	43 in / 1 m	43 in / 1 m
カウンターウェイトベース、幅 — 収納	28.75 in / 73 cm	28.75 in / 73 cm	28.75 in / 73 cm	—
幅、延長時	43.50 in / 1.1 m	43.50 in / 1.1 m	43.50 in / 1.1 m	—
高さ — 操作時	28.50 in / 72.4 cm	28.50 in / 72.4 cm	28.50 in / 72.4 cm	—
フォーク				
奥行き	22.50 in / 57.2 cm	22.50 in / 57.2 cm	22.50 in / 57.2 cm	22.50 in / 57.2 cm
幅	20.50 in / 52.1 cm	20.50 in / 52.1 cm	20.50 in / 52.1 cm	20.50 in / 52.1 cm
積荷作業台				
奥行き	23 in / 58.4 cm	23 in / 58.4 cm	23 in / 58.4 cm	23 in / 58.4 cm
幅	22 in / 55.9 cm	22 in / 55.9 cm	22 in / 55.9 cm	22 in / 55.9 cm
音圧レベル				
手動ウィンチ	<70 dBA	<70 dBA	<70 dBA	<70 dBA
周囲操作温度	-20 F to 120 F -29 C to 49 C	-20 F to 120 F -29 C to 49 C	-20 F to 120 F -29 C to 49 C	-20 F to 120 F -29 C to 49 C

* 10 インチ空気圧式後方ホイールオプションの場合は、この仕様の数値に 1 inch / 2.5 cm が追加されます。

* 4 点キャスターオプション B の場合は、この仕様の数値に 1 inch / 2.5 cm が追加されます。

* カウンターウェイトベースの場合は、この仕様の数値に 1 inch / 2.5 cm が追加されます。

仕様

機械構成

ベース：標準ベース、GL-4 と GL-8	
***ホイールとキャスター：**	
空気圧式オプション	
前方	2.50 インチ旋回キャスター
後方	10 インチ 空気圧式ホイール
ベース：標準ベース、GL-4、GL-8、GL-10 と GL-12	
***ホイールとキャスター：**	
空気圧式オプション	
前方	2.50 インチ旋回キャスター
後方	10 インチ 空気圧式ホイール
4 点キャスターオプション A	
前方	2 インチデュアルホイール旋回キャスター
後方	4 インチ旋回キャスター
4 点キャスターオプション B	
前方	2.50 インチ旋回キャスター
後方	5 インチ サイドブレーキ付き旋回キャスター および 4 点回転ロック
ベース：カウンターウェイト、GL-4、GL-8、GL-10	
****ホイールとキャスター：**	
前方	4 インチ旋回キャスター
後方	5 インチ サイドブレーキ付き旋回キャスター
**標準またはストラドルベースシップ仕様で、8 インチの後方ホイールと 2 インチのデュアル前方旋回キャスター付きの機械。	
**カウンターウェイトベースの機械には、サイドブレーキ付きの 5 インチ後部回転キャスターと 4 インチ前部固定キャスターが標準装備されています。	

仕様

機械の重量

Genie Lift 4

ベース	キャスターオプション	重量
標準	標準	113 lbs / 51 kg
標準	空気圧式	117 lbs / 53 kg
ストラドル	標準	126 lbs / 57 kg
ストラドル	空気圧式	130 lbs / 59 kg
ストラドル	4 点キャスターA	137 lbs / 62 kg
ストラドル	4 点キャスターB	139 lbs / 63 kg
カウンターウェイト	標準	392 lbs / 178 kg

Genie Lift 8

ベース	キャスターオプション	重量
標準	標準	132 lbs / 60 kg
標準	空気圧式	136 lbs / 62 kg
ストラドル	標準	145 lbs / 66 kg
ストラドル	空気圧式	149 lbs / 68 kg
ストラドル	4 点キャスターA	156 lbs / 71 kg
ストラドル	4 点キャスターB	158 lbs / 72 kg
カウンターウェイト	標準	411 lbs / 186 kg

Genie Lift 10

ベース	キャスターオプション	重量
ストラドル	標準	149 lbs / 68 kg
ストラドル	空気圧式	153 lbs / 69 kg
ストラドル	4 点キャスターA	160 lbs / 73 kg
ストラドル	4 点キャスターB	162 lbs / 73 kg
カウンターウェイト	標準	415 lbs / 188 kg

Genie Lift 12

ベース	キャスターオプション	重量
ストラドル	標準	154 lbs / 70 kg
ストラドル	空気圧式	158 lbs / 72 kg
ストラドル	4 点キャスターA	165 lbs / 75 kg
ストラドル	4 点キャスターB	167 lbs / 76 kg

代理店:

www.genielift.com